

時間割コード	G1D13201	開講年度	2026					
授業題目	ドイツ語初級（総合）Ⅱ					担当教員	松岡 幸司	
英文授業名	German: Elementary Level (Comprehensive Course) Ⅱ							
単位数	1	講義期間	後期	曜日・時限	月曜・5時限	対象学生	全	
講義室	共通教育 2 8 講義室			授業形態	実習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】	
	大学D P							
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力					⇔	基礎的な文法の学習を通して、簡単なドイツ語文を読み、同程度のドイツ語文を書くことができるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	☆到達目標： 「ドイツ語（初級）Ⅰ」に引き続き、国際化が進む現代社会で生きていくために、多様なものの見かたができるようになることを目指し、英語以外の外国語（この授業ではドイツ語）の基礎を習得する。その結果、「初級Ⅰ」から引き続き受講した後にしっかり自習することで、進級後の独検3級夏期試験に合格するドイツ語力を身につける。 ☆学ぶべきこと： 1. 一つ一つの文法項目を積み上げ、組み合わせ、統合して使いこなす方法 2. ドイツ語の発音 3. 異文化圏としてのヨーロッパ理解 ☆文法学習について： 前期に習得したことを土台として、さらに「学習」した個々の項目を自由自在に組み合わせ、読み・書き・話し・聞くための能力を延ばすことが目標である。そのためには、授業で扱った内容を次の授業までにしっかりと復習し、疑問点を明確にし、定着させて進んでいかなければならない。 ☆発音について： 前期に引き続き、重点をおく。 ☆授業の全体像： 基本的に1課終了ごとに確認テストを行うことで、自己評価（チェック）に役立ててもらう。その他に発音チェックの口頭試験、期末試験を行う。							
(5)授業のキーワード	初修外国語 ドイツ語、異文化理解、グローバル感覚							
(6)授業計画	1-3. Lektion 4：美術館とカフェ（人称代名詞の3格・4格、前置詞の格支配） 4-6. Lektion 5：ハイキング（前つづりを持つ動詞、話法の助動詞、未来・推量の助動詞werden） 7. 前半のまとめ 8-10. Lektion 6：ベルリン（動詞の3基本形、過去形、現在完了形） 11-14. Lektion 7-2（再帰代名詞）、Lekiton 9-1, 2：（受動形、zu不定詞） 15. 後半のまとめ、授業アンケートの記入 （扱わなかった部分は、2年次以降の教養科目「原文で読むドイツの日常と文化【EA】」で引き続き学習できます。）							
(7)成績評価の方法	・確認課題および口頭試験 [30%] ・確認小テスト [40%] ・期末テスト [30%] これらを総合して評価する。							
(8)成績評価の基準	既習事項の習得度を下記のような方法で「授業の達成目標」にある言語運用能力の獲得度を確認し、評価する。 ・確認課題および口頭試験：毎回の授業の終了後に取り組む「確認課題」により、授業内容の理解度と習得度を確認する。また学期中に1回口頭試験を行い、発音の習得度を確認する。 [30%] ・確認小テスト：教科書の各課終了後に取り組む「確認小テスト」により、当該課の内容の理解度と習得度を確認する。 [40%] ・期末テスト：セメスター全体の内容の理解度と習得度を確認する。 [30%] 見てわかるように、学習プロセスの各段階における理解度から達成目標への到達度をはかる。これらを総合して、下記のように評価する。 90点以上：十二分に授業の達成目標の水準に達した 80点以上：授業の達成目標の水準に達した 70点以上：ある程度、授業の達成目標の水準に達した 60点以上：最低限、授業の達成目標の水準に達した							
(9)事前事後学習の内容	・予習よりも復習に重点をおく！ ・毎回の授業の後には必ず復習を行い、自分の理解度を確認すること。「復習」というのは「理解できなかった部分とできなかった部分をはっきりさせる」ために行うものである。 ・そのため、毎回授業外学習の課題に取り組んでもらう。 ・また授業内でも授業外でも、音読の練習を際限なく繰り返すこと。 ・授業で使う教科書の映像と音声はWeb上で視聴できるので、それを授業外学習で積極的に活用するよう							

(9)事前事後学習の内容	に！ ※この授業は45時間の学修を必要とする内容です。従って、15時間（毎週1時間）以上の時間外学習が必要となります。
(10)履修上の注意	・理解度・習得度の低かった事柄については、次回の授業、メール、オフィスアワーなどを活用して、必ずしっかりと確認すること。 ・前期に「ドイツ語初級（総合あるいは文法）Ⅰ」を受講していることが望ましい。その授業の内容を身につけていることを前提に授業は進みます。 ☆この授業は、授業動画を使用した【EA】でも開講している。他の授業との関係でこの時間に受講できない学生は、e-learningでの受講が可能である。
(11)質問,相談への対応	オフィスアワー：木曜日3限 研究室の場所：共通教育第1講義棟3階南 メールアドレス：maulwurf@shinshu-u.ac.jp ☆オフィスアワーの時間に来れない人は、メールにて相談してください。 ☆松本キャンパス以外の学生は、授業時やメール、Web上のフォーラムを活用してください。
(12)授業への出席	・全ての回に出席することを基本とします。 ・授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外（不可）となります。 ・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。 ・「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください（『共通教育履修案内』参照）。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法（『共通教育履修案内』参照）により、共通教育窓口で申請してください。（この場合は、出席扱いにはなりません。）
【教科書】	若林 恵・若松宣子 他：Lindenholz.（リンデンホーフ 一初級ドイツ語総合）. ISBN-13: 978-425525500-2. 朝日出版社（2026）. ￥2,640-
【参考書】	清野智明：ドイツ語のしくみ《新版》白水社 単行本：ISBN: 978-4-560-08656-8（2014）\1,650- 電子媒体：ISBN: 978-4-560-45953-7（2018）\1,650- その他、授業時に適宜紹介します。